

事業報告書

工組・支部名 : 北海道電気工事業工業組合・苫小牧電気工事業協同組合青年部
資料提出日 : 平成30年8月28日

1. 【事業名】 『とまこまい港まつり 小学生 夏休み 電気工作実験教室』
2. 【実施日時】 平成30年8月4日(土)～5日(日) 両日 11時、13時、14時30分、16時
3. 【実施場所】 苫小牧中央公園 (苫電協青年部 模擬店内)
4. 【提言書2016との適合性】 本事業に当てはまる項目番号と提言書ページ数をご記入ください
①人材育成と後継者育成 (P.5～) ②組合員の経営安定化の支援 (P.12～)
③技術・施工品質の向上と経営能力の向上 (P.16～)
④その他 (日本列島電気工事組合改造計画 未来へ)

◎項目番号 : ④

◎提言書ページ : P.24

5. 【事業目的】 工作教室を通じて、発電の仕組みを学びながら、電気について学習できる場を設けたい。また子ども達自らが電線の加工等を行うことにより、電気工事にも興味や関心を持ってもらえるような機会としたい。
6. 【事業内容】 ペットボトルを使用したオリジナル風力発電機を製作する
(ペットボトルに風車やモーターなどを取り付け、風の力でLEDを点灯させる実験)
7. 【参加員数】 実績 : 参加者 73名(小学生 65名、幼児 8名)、青年部(業界促進委員会) : 5名
8. 【外部協力者】 苫小牧電気工事士会との共同開催 (工事士会から講師役 : 13名参加)
9. 【事業総額】 約 150,000円

10. 【事業の成果】

夏休み期間中の港まつりに合わせて開催したことにより、多くの親子連れが来場。全回とも満員になるほど盛況となり、参加をお断りした回も幾度とあった。電線の皮むきや端子での結線作業に苦労はしていたものの、LEDが点灯した際の子どもの笑顔が印象的であった。また多くの保護者にも喜んでいただき、来年もぜひ開催してほしいとのお声を多数頂戴した。

11. 【反省点または工夫した点】

<反省点> ・各回のインターバルが短いため、配布物は事前に分け個別に用意しておくべきであった。
・工事士会の責任者を事前に選任いただき、企画段階から参加して頂くことが必要。
<工夫点> 事前予約(前払制)を認めたため、参加希望者の割り振りがバランス良くできた。

12. 【別添資料(写真・動画等)】 別紙参照



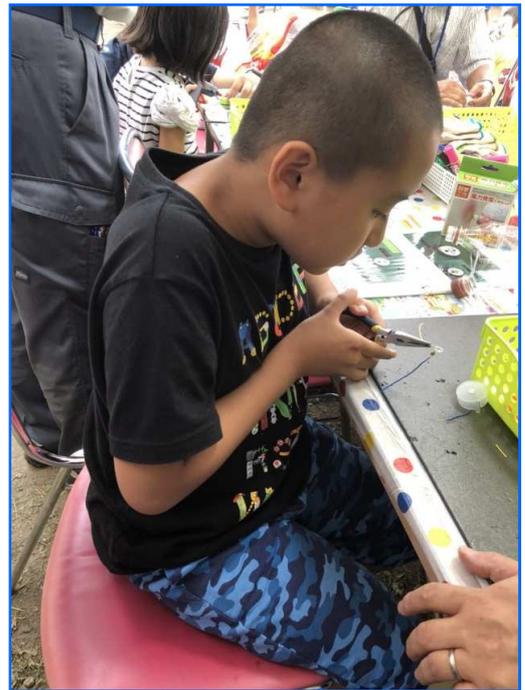
工作教室 テント設営後



グルーガンで接着作業に挑戦



電気に関するPRコーナー設置



LEDと電線を端子で圧着



実験教室 授業スタート！



ついに完成！点灯確認OK！



講師役として工事士会が活躍！